

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
	<p>建築基準法で小学校の階段の蹴上は16cm以下、中学校では18cm以下と定められている。現状の三橋中の蹴上の高さはどうなっているか？手すりや滑り止めシート等を設置することで緩和もできるが、小学生にとっての2cmは影響が大きいのではないかと思う。</p>	<p>階段の蹴上については未確認である。早急に確認する。</p>
1	<p>躓きや転倒のリスクを考えて、既存の小学校を使ってはどうか？また、(仮称)三橋小は、令和10年度時点で801人とある。望ましい学校規模からすれば、規模が大きすぎるのではないか？</p>	<p>旧三橋町地区について、5校全てを1つに統合せずに、いくつかの小学校に分けて統合させてはどうかという趣旨かと思う。(仮称)三橋小は、令和10年度時点の801人までしか推計ができていないが、今後も人口減少が続くと考えられる。ただ、柳川駅前の再開発等で藤吉校区の人口がどう変化するのかという要素があり、予測が非常に難しい。小さく統合することで、将来的に更なる再編統合が必要となるよりも、現段階で、ある程度の規模を確保したいと考えている。また、現在、藤吉小は施設利用に余裕がない状況であることから、教育環境の充実を目指して今回の計画案を策定している。</p>
	<p>旧大和町地区の再編を急ぐのは、複式学級が発生する懸念がある為とのことだったが、中山小も人数的に近い状況である。ある程度の児童数を確保するために、取り急ぎニッ河小と統合する案はどうか？</p>	<p>以前、中山小は複式学級になった時期があったが、市営住宅の建設や市有地分譲などの効果があったのか児童数が持ち直しており、今後の人口予測が大変難しい。危うい状況にある学校のみ取り急ぎ統合するという考え方は理解できるが、計画の期間が10年間と限られているので、タイミングの問題があるうえ、短期間に更に統合することになれば、学校の統合を2度経験する子どもがでてしまう。やはり1度に統合したほうが子どもたちへの負担が少ないのではないかという考えで今回の計画案を策定している。</p>
2	<p>学校再編の意義は理解できる。義務教育学校のメリットとして小学生段階から専門的な学習を受けられるとのことだが、普通の6・3制の小中学校との教育内容の格差が生じないか心配である。 実際に始まってみないと分からないが、教育の機会均等という観点から少しそぐわないような気がする。</p>	<p>(学校教育課長)私共は、基本的には隣接する他校区の学校と統合し、適正規模を確保するのが望ましいと考えている。しかし、今回義務教育学校の導入を検討している蒲池校区と昭代校区については、それがなかなか難しい状況だった。そのため、小学校同士、中学校同士を統合して横に広げるのではなく、小学校と中学校を統合し、縦に広げて9年制にすることで、全体の学級数を確保する考え方で義務教育学校の導入を検討している。</p> <p>(首席指導官)教育内容の格差についてのご質問だが、義務教育学校も6・3制の小中学校も、同じ学習指導要領に基づいて教育を行う。小学校相当の児童に対して、中学校籍の先生が専門教科の授業をすることが可能であるが、中学校のカリキュラムを前倒して教えるわけではない。</p>
	<p>旧三橋町地区が最後に再編されるのはなぜか？そのように決定した経緯を聞きたい。</p>	<p>ご存知の方も居ると思うが、旧大和町地区において、既に複式学級の基準に合致する学校が存在する。他の学校も危うい状況が見受けられるため、まずは旧大和町地区の統合再編を行うこととした。そして、大和中と三橋中の統合中学校を開校した後、三橋中を改修し、そこに(仮称)三橋小を開校する予定である。これらの校舎の利用計画等を含めて今回の計画案としている。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
2 つづき	大和中と三橋中の統合中学校を現豊原小に置く計画だが、周辺の用地買収が必要になると思う。令和9年度開校予定だが用地確保の目処は立っているのか？それとも既に用地買収に入っているのか？	今の再編計画は案の段階であり、用地買収は始めていない。計画決定次第、取り組みを進めたい。用地が買収できない可能性もあるため、その場合は豊原小近辺での用地確保も視野に入れて検討していく。
	統合中ができれば、後の予定も全てずれるのでは？再編に反対ではないが心配である。	ご意見はありがたく受け止めさせていただく。余裕を持ったスケジュールを組みたいという思いはあるが、答申を尊重し10年間で完了させるスケジュールを立てている。可能な限りこのスケジュールに沿って計画を進めたいと考えている。ご理解ご協力をお願いしたい。
3	スクールバスについて、通学の際は小学校ごとに集まって乗るのか？地区ごとに集まって乗るのか？	運行方法について、詳細は再編協議会（仮称）で、地域の実情に合った方法を協議することになる。ただ、乗車時間が長くなりすぎるため、各家庭を回るのは不可能だと考えている。参考にしているみやま市の桜舞館小学校の場合、集落ごとにバス停を設け、そこで乗降させている。2台が違うコースを回り、さらに違うコースをもう1周する計4ルートである。バスを利用する人数を考慮し、効率的な運行を考えたい。
4	学童保育についてはどうなるのか？旧三橋町地区の小学校5校における学童保育の利用者は、現在何人いるのか？	正確な人数は把握していないが、藤吉小で4学級、ニッ河小で1学級使っている。垂見小は体育館のミーティングルームに入る人数で、中山小は約20人と記憶している。教室数で考えると、合計で8教室ほど使用している状況である。
	統合後は現在の三橋中学校内に学童保育所ができると考えて良いか？	所管である子育て支援課と協議中だが、基本的には新設校の用地内に学童のスペースを確保する考えである。また、統合後は、現在の学校ごとの学童保育運営委員会も1つになるのが自然な形ではないかという話をしており、子育て支援課で検討している。
	学童保育には十分な広さが必要である。保護者のお迎えも遠くなるので、適切に対応して欲しい。	また、統合後の地域コミュニティ活動の在り方についてお伺いしたい。
		現在、1つの小学校区に1つの公民館があり、地域の支えがあった上で学校が運営されており、両者は強く結び付いている。そのため、再編にあたって小学校区を分割しないという方針を立て、公民館活動等への影響の軽減を図っている。今後については、直接学校を支える部分で、コミュニティスクール運営協議会は統合されることになるだろうが、公民館活動や交通安全協会等の地域組織については、学校統合後も、現状のまま活動を継続し、連携して新しい学校を支えていただきたいと考えている。これまで通りの活動をしていただく中で、各組織それぞれで統合が望ましいという気運が高まれば、私共としても、組織の統合に向けて支援をしたい。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
4 つづき	強いリーダーシップを発揮できる人間がいれば上手いくかもしれないが、地域の各組織がまとまるのはなかなか難しいのではないかと思う。また、校区が現在の中学校校区の範囲に広くなれば、地域の繋がりが希薄になりそうで心配である。	地域活動と学校の連携については、今後も継続して検討していく。学校統合後にも、地域の方々のご協力が必要になる場面があると思われる。是非ご協力をお願いしたい。